

＝ 普及 情 報 ＝

No. 6

平成28年11月28日

東部農林振興センター出雲農業普及部

標 題	アスパラガス産地振興プロジェクトの立ち上げに向けた検討を開始
-----	--------------------------------

(ダイジェスト)

11月11日に生産者と市・農協・県がアスパラガス産地振興プロジェクトの立ち上げに向けて、産地の抱える問題や今後の推進方向について検討し、生産者と関係機関が連携して産地振興に取り組むことを確認しました。これまで、ぶどう等の果樹では産地再生に向けたプロジェクトを立ち上げ、リース団地の導入等により産地振興を進めていますが、野菜では初めての取り組みとなります。

J Aしまね出雲地区本部のアスパラガスは、平成2年から栽培が始まり、平成28年度は生産者44名、栽培面積6.4ha（うち施設4.4ha）、販売額約6,000万円と県内一の産地です。

アスパラガスは本年度からJ Aしまねの園芸推進5品目に位置づけられ、出雲地区本部でも遊休ハウス等の活用やリースハウスの導入による面積拡大をすすめ、平成30年までに面積10ha、出荷量100t、販売金額1億円を目指した振興計画を立てています。

それを着実に達成するため、今年2月に行われたアスパラガス部会総会において、今年度事業として産地振興と面的拡大を目指した産地振興プロジェクトを立ち上げることが決定されました。

11日の会合では、生産者（部会長、栽培4年目の若手生産者）と関係機関が産地の抱える問題と今後の推進方向・具体的取り組みについて検討し、まずは、生産者の個別台帳整備、作業受委託・研修受け入れ農家登録や圃場の幹旋等に関するアンケートを実施し、産地や生産者の現状や課題を把握していくことになりました。今後も引き続き、産地の目指す目標や方向・活動計画等について協議していき、プロジェクトでの取り組み内容を確定し、2月の総会において部会員に了承を得てから本格始動する予定です。

普及としましても、新規就農者の確保・育成、既存生産者の規模拡大、安定生産技術・高品質生産の確立によるアスパラ産地の振興に向けて積極的に支援していきます。

